

水生生物の保全に係る水質環境基準の水域類型の指定  
( 答申概要 )

水生生物の保全に係る水質環境基準の水域類型の指定について、魚介類の生息状況及び水域の水溫特性に関する情報等から、水域類型及び該当類型に係る基準値の達成期間は表 1 のとおりとする。

表 1 水生生物の保全に係る水質環境基準の水域類型の指定

水域区分	水域		水域類型	達成期間
庄内川等 水域	日光川	( 全域 )	生物 B	5 年を超える期間で 可及的速やかに達成
	新川下流	( 新橋より下流 )	生物 B	直ちに達成
	五条川下流	( 待合橋より下流 )	生物 B	5 年を超える期間で 可及的速やかに達成
	庄内川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	矢田川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
名古屋市 内水域	荒子川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	中川運河	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	堀川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	山崎川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	天白川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
境川等 水域	境川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	逢妻川	( 全域 )	生物 B	5 年を超える期間で 可及的速やかに達成
	<small>さわたり</small> 猿渡川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	<small>ひえだ</small> 稗田川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	高浜川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	新川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	<small>あさだ</small> 長田川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	半場川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	朝鮮川	( 全域 )	生物 B	5 年以内で可及的速 やかに達成
	阿久比川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	油ヶ淵	( 全域 )	生物 B	直ちに達成

水域区分	水域		水域類型	達成期間
豊川等 水域	豊川(ア)	( 布里堰堤より上流 )	生物 A	直ちに達成
	豊川(イ)	( 布里堰堤より下流 )	生物 B	直ちに達成
	うれ 宇連川(ア)	( 養乙女橋より上流 )	生物 A	直ちに達成
	宇連川(イ)	( 養乙女橋より下流 )	生物 B	直ちに達成
	豊川放水路	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	音羽川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	佐奈川	( 全域 )	生物 B	5 年以内で可及的速 やかに達成
	梅田川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
	汐川	( 全域 )	生物 B	直ちに達成
天竜川 水域	大千瀬川	( 静岡県境より上流 )	生物 A	直ちに達成

【参考】表2 水生生物の保全に係る水質環境基準

水域	類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値 <sup>1</sup>		
			全亜鉛	ノニルフェ ノール	L A S <sup>2</sup>
河川 及び 湖沼	生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L 以下	0.001 mg/L 以下	0.03 mg/L 以下
	生物特 A	生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L 以下	0.0006 mg/L 以下	0.02 mg/L 以下
	生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L 以下	0.002 mg/L 以下	0.05 mg/L 以下
	生物特 B	生物 A 又は生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L 以下	0.002 mg/L 以下	0.04 mg/L 以下

1 基準値は年間平均値

2 L A S : 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

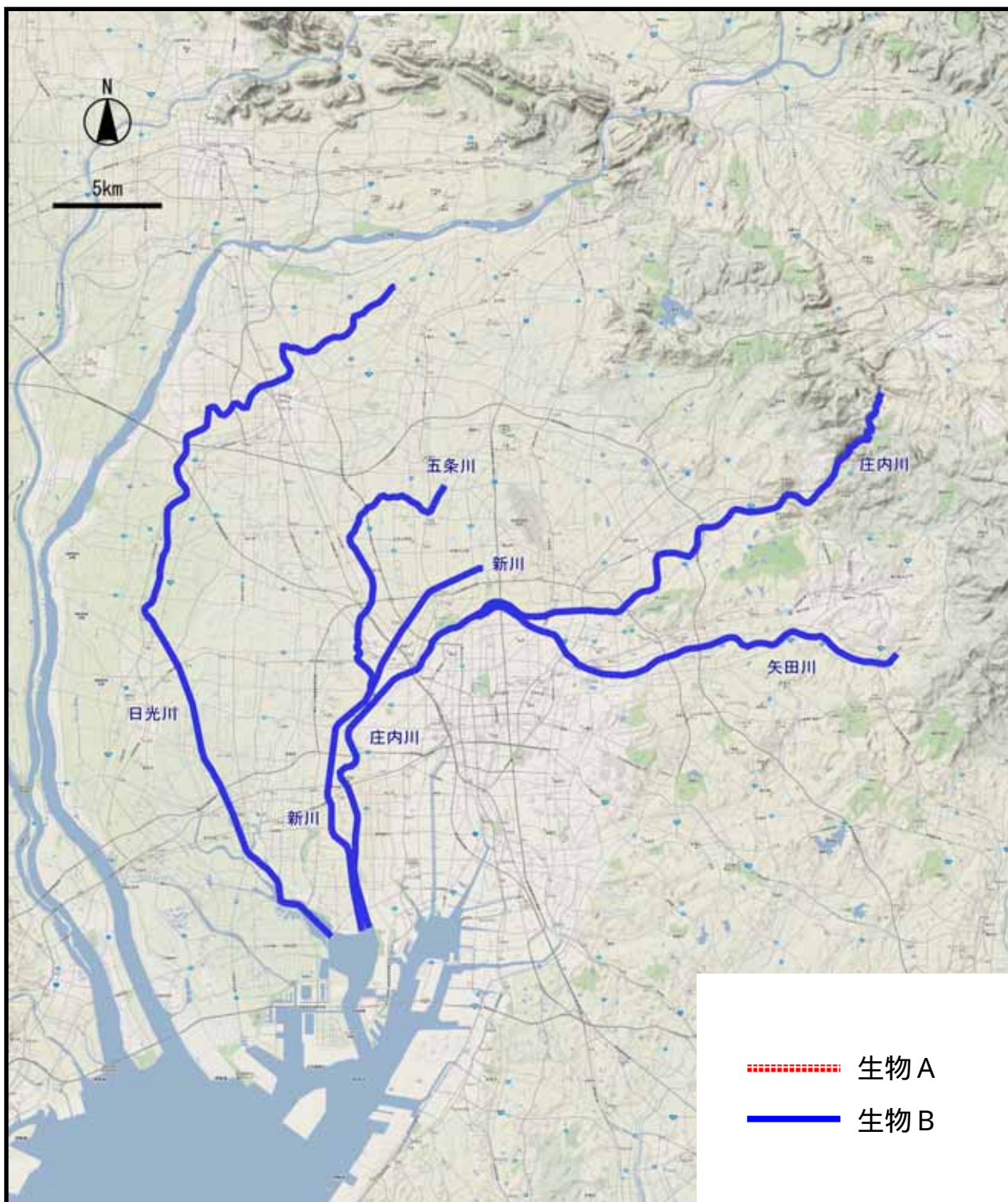


図 1 水域類型の指定図（庄内川等水域）

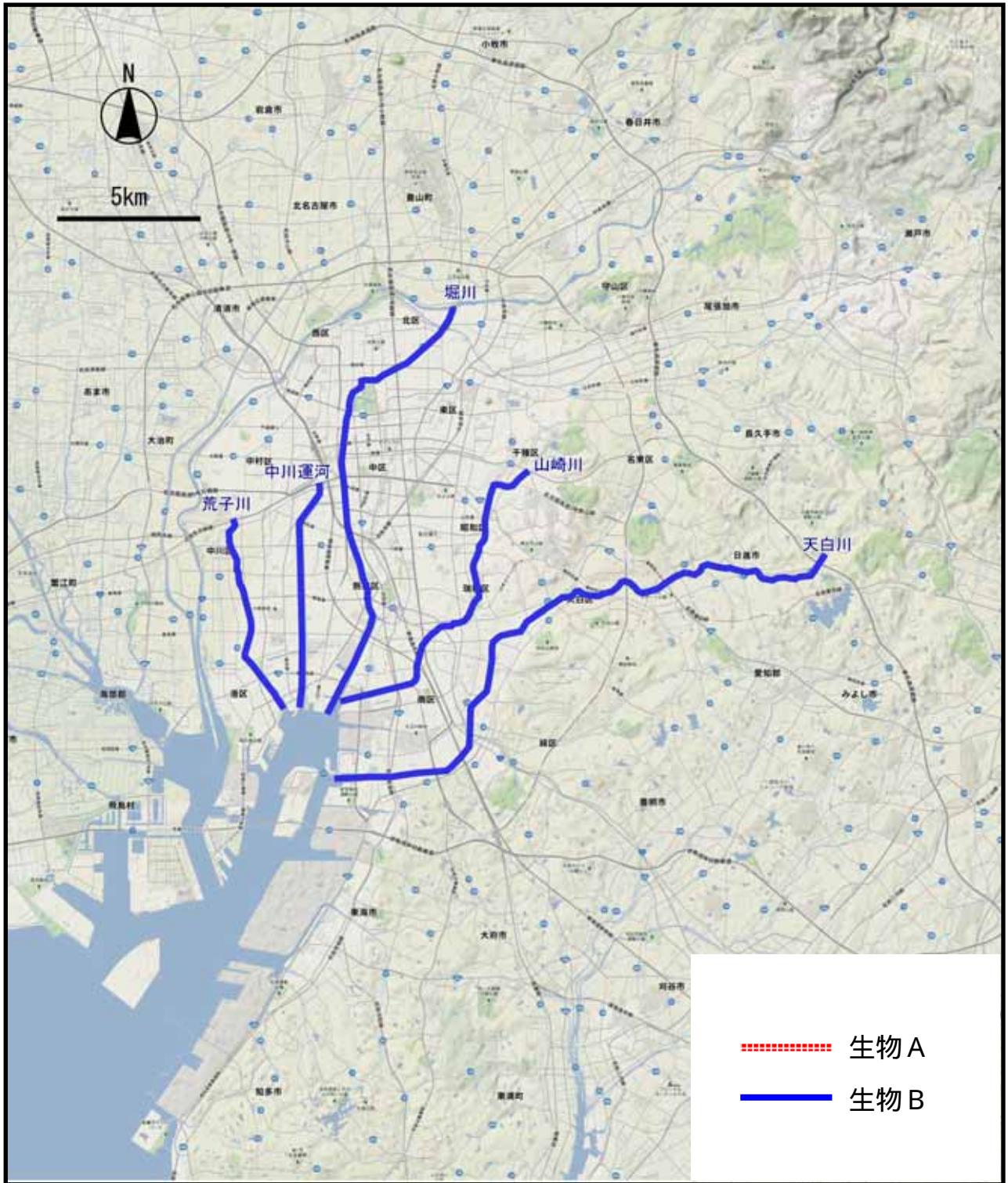


図2 水域類型の指定図（名古屋市内水域）

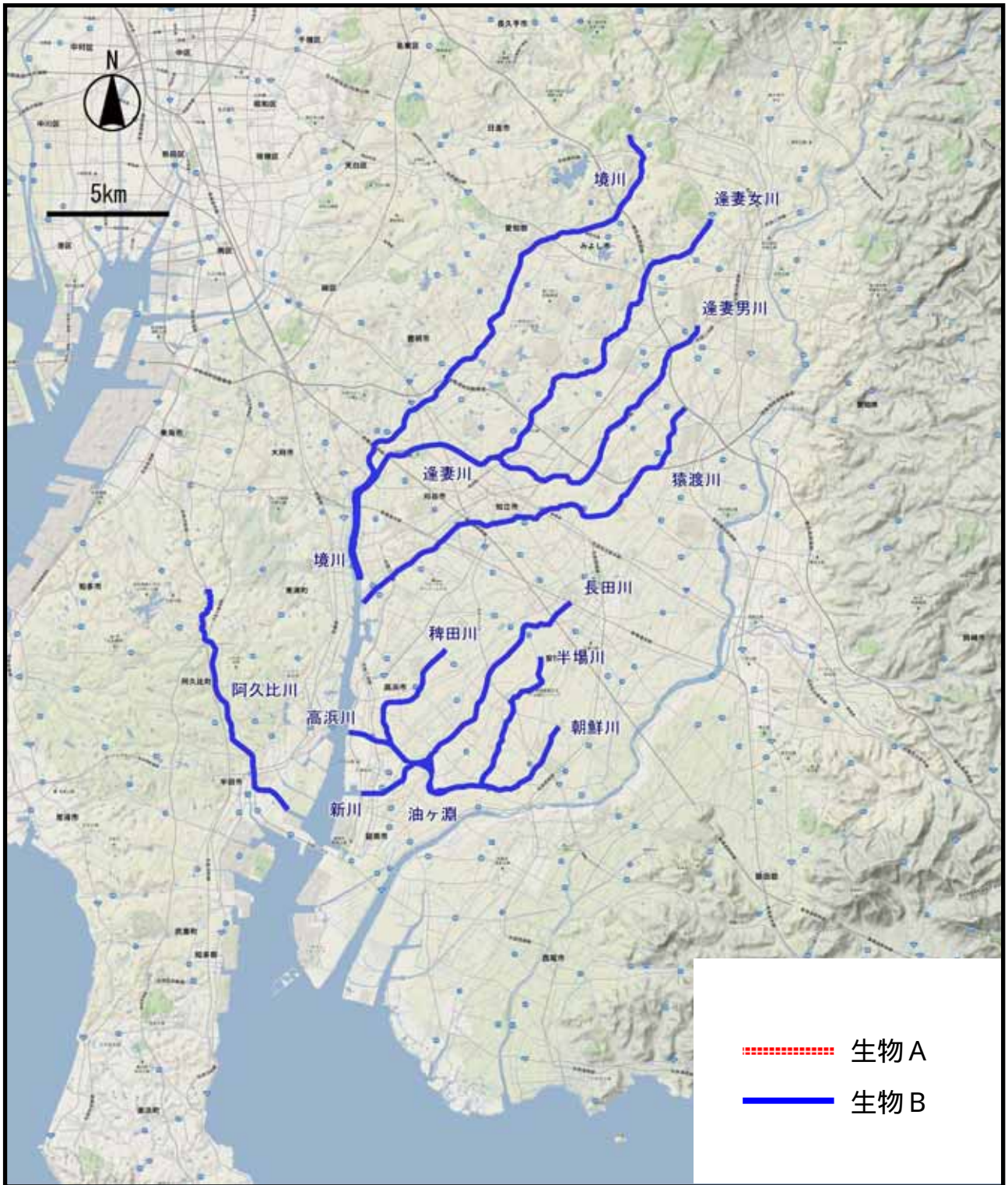


図3 水域類型の指定図（境川等水域）



図4 水域類型の指定図（豊川等水域及び天竜川水域）